ワールドホールディングス

Create a Sustainable World.

2022年度12月期 決算説明資料

第１四半期

2022年5月12日（木）
株式会社ワールドホールディングス
東証プライム（2429）

Ⅰ. サスティナビリティ

・当社グループの存在意義/パーパス … P3
・ESG × SDGs … P5
・ポートフォリオ … P6

Ⅱ. 2022年12月期 第1四半期 決算概要

・決算サマリー … P8
・セグメント変更に関して … P11
・セグメント別業績概況 … P12
・財政状態 B/S … P18

Ⅲ. 2022年12月期見通し

・2022年12月期通期業績見通し … P20
・株主還元 … P21

Ⅳ. Appendix

・ワールドホールディングス 会社案内 … P22

当社グループの存在意義 Purpose

ワールドホールディングス

世界中にあらゆる
人が活きるカタチを
創造することで
人々の幸せと社会の
持続的発展を実現する

世界中の人々が
より活き活きと活躍し生活できれば
この世界はもっと幸せにあふれ、
発展し、よりよい世界になっていく

私たちの使命は
そんな生きやすく活力あふれた社会を
創っていくことです

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

「働く」カタチ
人材教育

あらゆる人々に適材適所の「仕事」を探し
活き活きと働く喜びを感じてもらうとともに
教育を通して人がもつ潜在能力を引き出し
人の可能性を開花させることで
産業の発展に貢献する

「まちづくり」のカタチ
不動産

人が生活する上での基本となる
快適な「街」をデザインすることで
活き活きと生きられる環境を提供し
自然環境・地球資源を大切にした
まちづくりで社会に貢献する

「便利と安心安全」のカタチ
情報通信

新たに登場する「IT」インフラを世に普及し
人々に便利さを広めることで
安心安全な生活を送れる環境を創り
社会の豊かさに貢献する

「未来」のカタチ
農業公園

自然環境・地球資源を大切にすると共に
未来を担う子供たちの「成長」に必要な
育成環境を提供することで
社会の持続的発展を下支えする

ESG×SDGs

ワールドホールディングス

環境 E

不動産	農業 公園	環境に配慮した暮らしやすい住設備を整え、人々が安心して生活できるまちづくりを進める
不動産	農業 公園	自然を守り、地球資源を大切にし、子供たちが健やかに成長できる環境を保つ

社会 S

人材教育		あらゆる人に適材適所な仕事を提供し、安定した生活基盤の構築を進めることで貧困をなくす
人材教育		人材育成・質の高い教育を行うことで、あらゆる人の潜在能力を開花させる
人材教育		ジェンダーに関わらず、あらゆる人が活躍できる働ける場所の提供を進める
人材教育		あらゆる人に適材適所な仕事を提供し、働く喜びを感じられる環境を創り、潜在能力を引き出すことで経済成長に繋げる
人材教育	情報通信	ものづくり産業を下支えるとともに、新たなインフラの普及により技術革新の基盤をつくる
人材教育	不動産	情報通信	多種多様な業界との連携や、コンソーシアムモデル等を駆使し社会の持続的成長に繋げる

ガバナンス G

ガバナンスの強化	公正・透明・迅速なグループ全体のガバナンス強化・推進 コンプライアンスの徹底／リスクマネジメントの強化

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

ポートフォリオ

Create a Sustainable World.

バランスの取れた事業ポートフォリオにより
高い成長を実現し持続的な世界を創造する

人材教育ビジネス

- プロダクツHR事業
- サービスHR事業

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

不動産ビジネス

- 不動産事業

情報通信ビジネス

- 情報通信事業

農業公園ビジネス

- 農業公園事業

変化への対応力を重視した
ビジネスモデル構築

- 業種分散
- 地域分散
- フロービジネス
- ストックビジネス

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

Ⅱ. 2022年12月期 第1四半期決算概要

決算サマリー

全体サマリー

- **計画以上に順調に推移、特に基幹の人材教育ビジネスが好調**
- **新5か年計画「中期経営計画2026」の初年度として投資先行**

各事業サマリー

人材教育ビジネス

- **全分野とも総じて好調に推移し大きく増収増益**
- **計画比においては、特に利益面で大きく過達**

【好調な要因】

✓ 的確なマーケティングによる大型案件の受注
✓ 強みである「請負」案件増加と生産性向上による利益改善
✓ シームレスな領域間の連携による取引幅の拡大

不動産ビジネス

- 不動産価格の高騰が続く中、引き続き慎重な事業展開
- 本年度は下期に物件の引渡しが集中している為減益となるも計画通り順調に推移

情報通信ビジネス

- 携帯電話販売業界が再び大きな変革期にある中、一ユーザ当たりの単価の減少や手数料の減少により減収減益

農業公園ビジネス

- コロナ禍の影響と2月の天候不順により入園者数が伸び悩むも、3月以降は回復に転じ、昨対増収となり損失計画を改善

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

業績概況

- 利益面の大きな計画上振れに関しては、**人材教育ビジネスの好調**によるもの
- 不動産ビジネスにおいて昨年度に比べ物件の引渡しが下期に集中している為、昨対で減益となるも、計画通り順調に推移

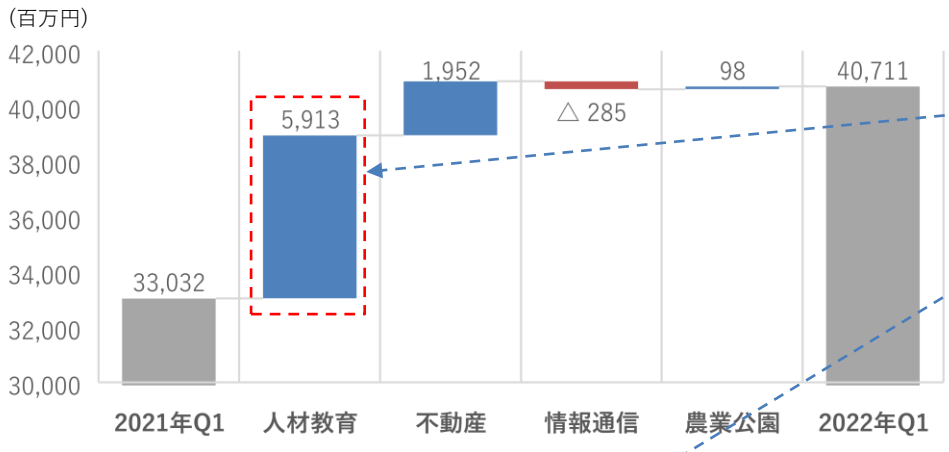
（単位: 百万円）

	2021/Q1 実 績	2022/Q1 計画	2022/Q1 実 績	計画比		前年同期比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	33,032	38,770	**40,711**	1,941	5.0%	**7,679**	**23.2%**
営業利益	1,682	572	**1,214**	641	111.9%	**△468**	**△27.8%**
経常利益	1,825	535	**1,302**	766	143.1%	**△523**	**△28.7%**
親会社株主に帰属する当期純利益	1,324	322	**496**	173	53.8%	**△827**	**△62.5%**

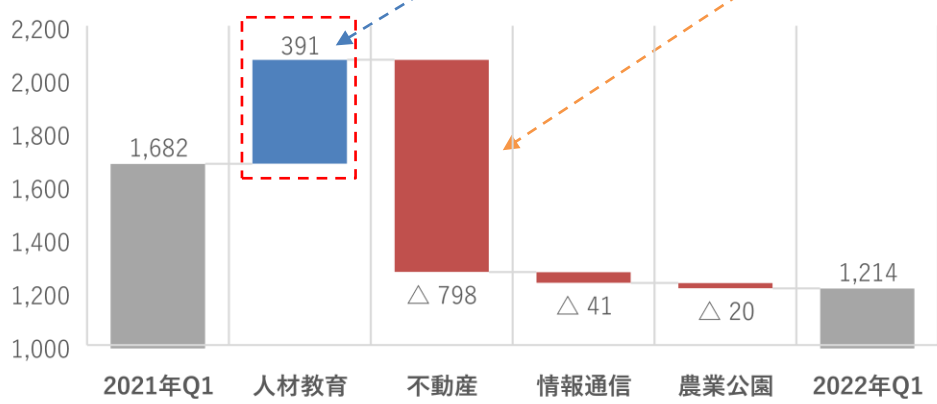
Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

業績昨対増減分析

売上高



営業利益



■ 主な増減要因

人材教育

- **既存事業の確実な成長**
- **大型案件の受注と継続**
- **新たな分野への進出（自動車関連等）**
- **強みである「請負」増加と生産性向上**

不動産

- 昨年度のQ1高利益率物件の反動で減益となるも計画上順調に推移（計画比で＋31）
- 主な物件引渡しはQ3, 4の計画

情報通信

- 単価の減少と手数料の減少

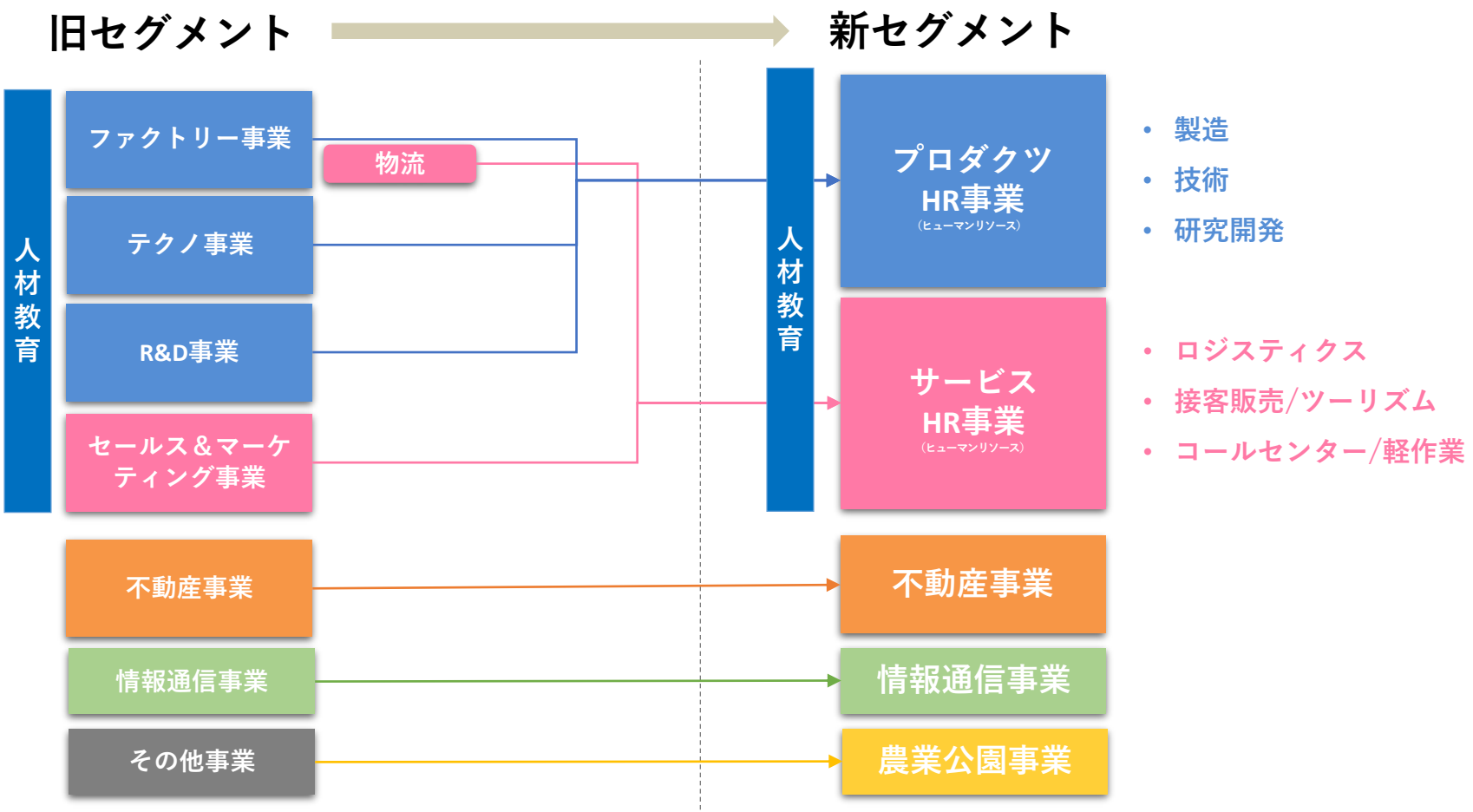
農業公園

- 減益は昨年度のQ1コロナ関連補填金の反動

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

戦略に基づくセグメント区分の変更

- 基幹ビジネスである人材教育ビジネスにおいて、従来の主力である「ものづくり分野」に加え「サービス分野」をもう一つの柱にすべくセグメント区分を変更
- 環境に配慮した社会性の高い事業を強化する目的で「農業公園事業」を独立セグメントに



Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

セグメント別業績概況

（単位：百万円）

			2021/Q1 実績	2022/Q1 計画	2022/Q1 実績	計画比 増減額	計画比 増減率	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
人材教育ビジネス	プロダクツHR事業	売上高	15,825	18,163	**19,938**	1,774	9.8%	**4,113**	**26.0%**
		セグメント利益	720	341	**887**	546	160.2%	**167**	**23.2%**
		（利益率）	(4.6%)	(1.9%)	**(4.5%)**				
	サービスHR事業	売上高	7,374	8,424	**9,174**	750	8.9%	**1,800**	**24.4%**
		セグメント利益	168	106	**392**	285	267.2%	**224**	**133.2%**
		（利益率）	(2.3%)	(1.3%)	**(4.3%)**				
	計（参考）	売上高	23,199	26,588	**29,113**	2,525	9.5%	**5,913**	**25.5%**
		セグメント利益	888	448	**1,280**	832	185.7%	**391**	**44.0%**
		（利益率）	(3.8%)	(1.7%)	**(4.4%)**				
不動産ビジネス	不動産事業	売上高	6,783	8,984	**8,735**	△248	△2.8%	**1,952**	**28.8%**
		セグメント利益	740	△88	**△57**	30	–	**△798**	**–**
		（利益率）	(10.9%)	—	**–**				
情報通信ビジネス	情報通信事業	売上高	2,443	2,523	**2,157**	△365	△14.5%	**△285**	**△11.7%**
		セグメント利益	4	49	**△37**	△86	–	**△41**	**–**
		（利益率）	(0.2%)	(2.0%)	**–**				
農業公園ビジネス	農業公園事業	売上高	605	673	**704**	30	4.6%	**98**	**16.3%**
		セグメント利益	△68	△113	**△89**	24	–	**△20**	**–**
		（利益率）	—	—	**–**				
合計		売上高	33,032	38,770	**40,711**	1,941	5.0%	**7,679**	**23.2%**
		消去又は全社	116	277	**117**	△159	—	**0**	**0.8%**
		営業利益	1,682	572	**1,214**	641	111.9%	**△468**	**△27.8%**
		（利益率）	(5.1%)	(1.5%)	**(3.0%)**				

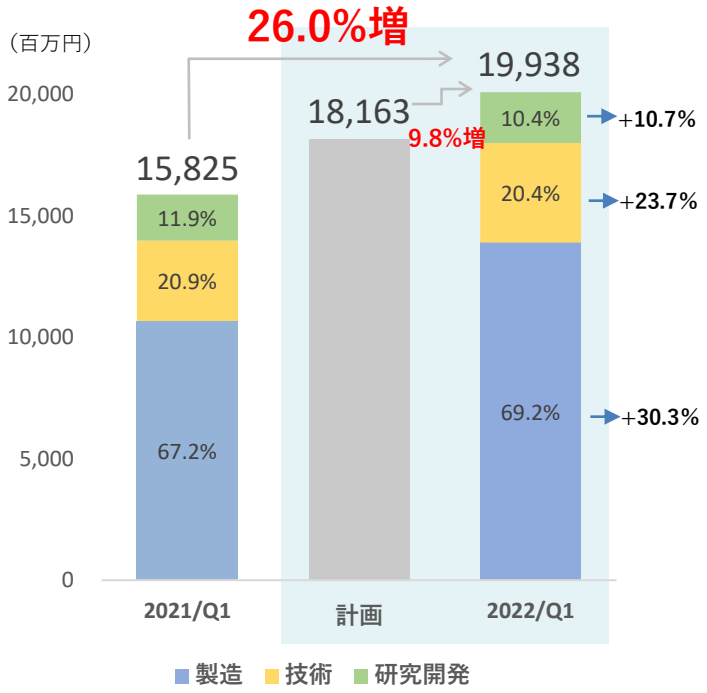
Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

プロダクツHR事業

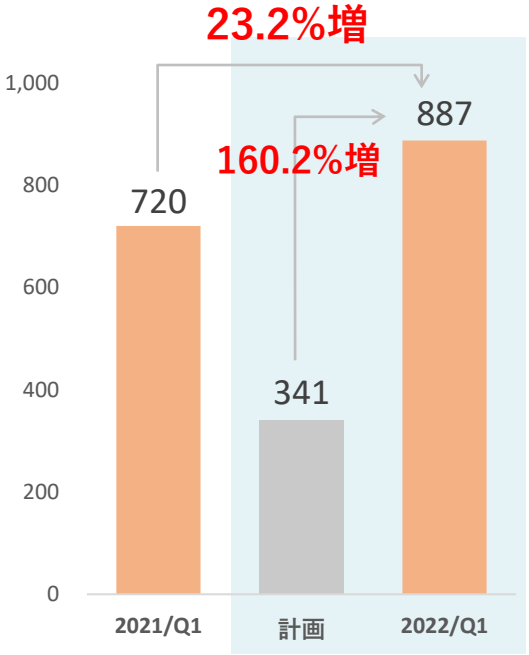
人材教育

- 主力の製造分野が好調に推移
- 緻密なマーケティングの下で、5Gをはじめとした半導体や電子部品等の大型案件の受注
- 新たに自動車分野を開拓
- 管理者の人材育成、DX化等へ投資
- 強みである「請負」「チーム派遣」案件の増加と生産性向上、技術案件の拡大で利益貢献
- 予定していた採用コストを一部 Q2以降にシフト

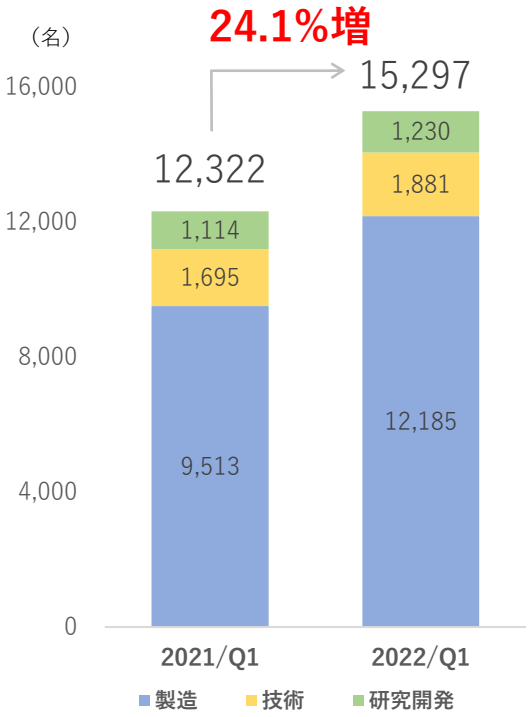
◆ 売 上 高



◆ セグメント利益



◆ 稼働人数 ※3か月平均



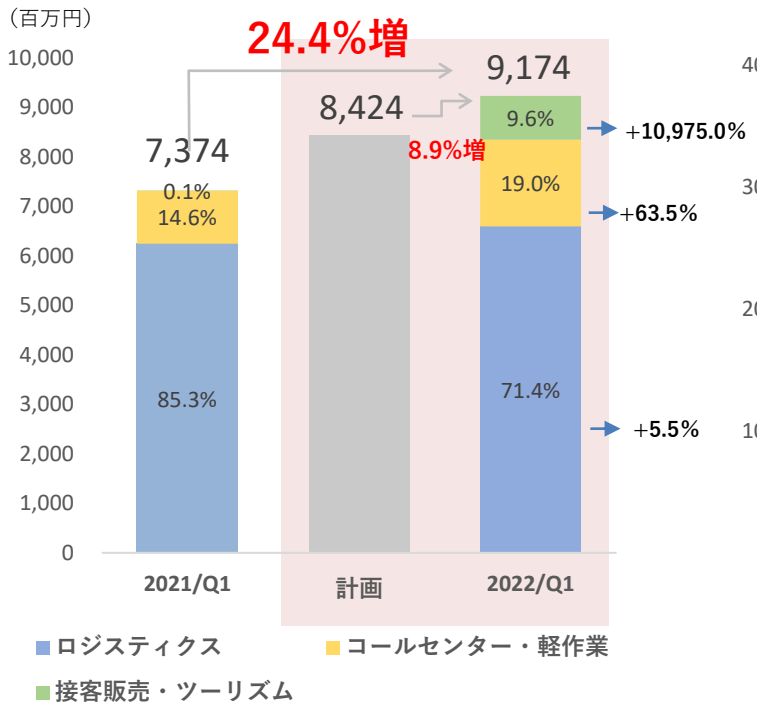
Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

サービスHR事業

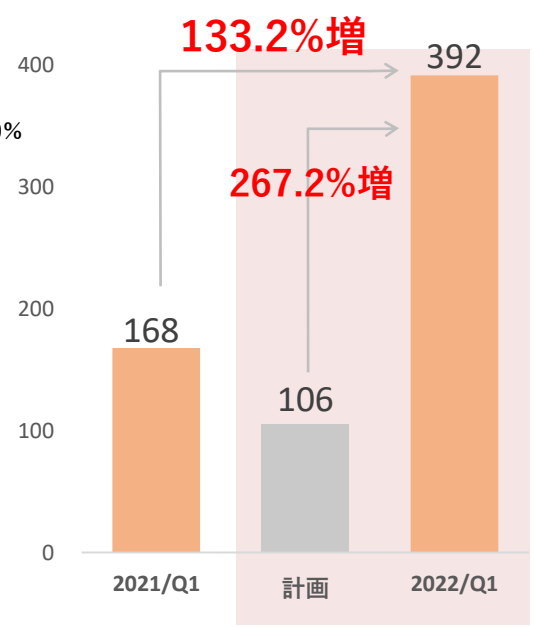
人材教育

- 主力の物流分野は、昨年開拓した拠点も順調に立ち上がり計画通り推移
- コールセンターや軽作業分野においても、強みである「請負」案件の受託を進め、行政関連の大型受注やワクチン接種会場の継続受注に繋げ計画以上に推移
- ㈱ディンプルのグループインで接客販売分野の強化と既存事業とのシナジー模索

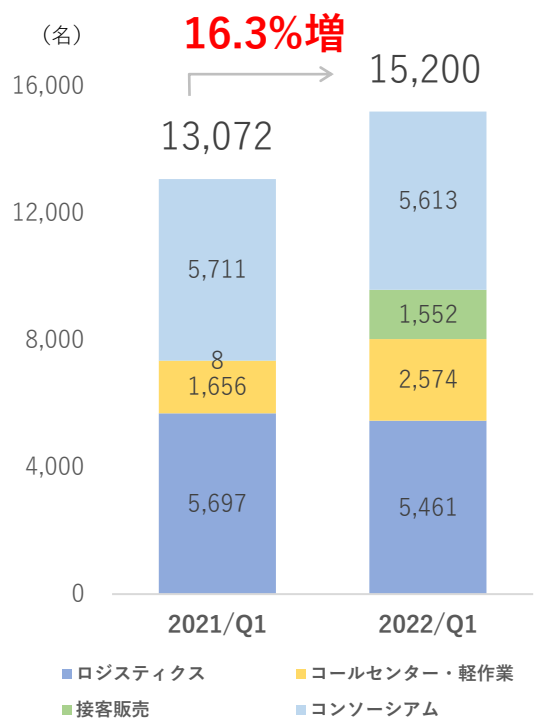
◆ 売 上 高



◆ セグメント利益



◆ 稼働人数 ※3か月平均



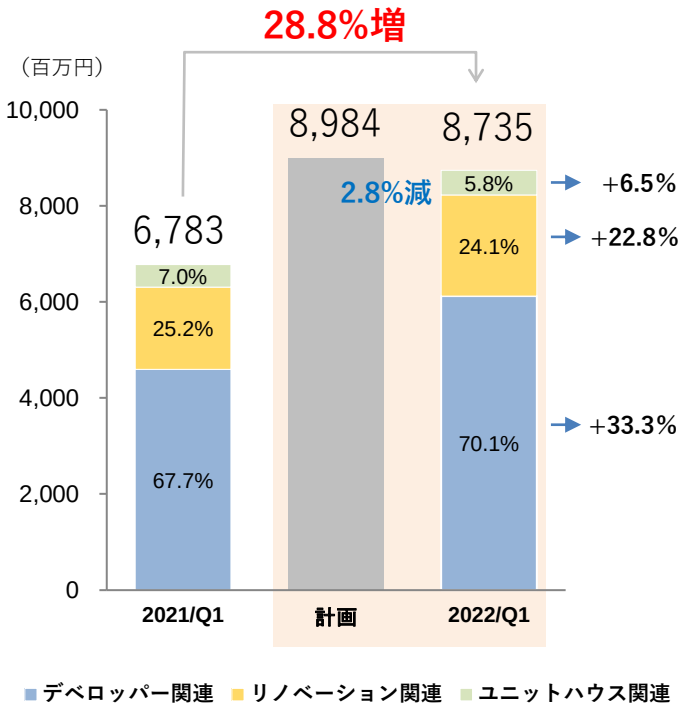
Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

不動産事業

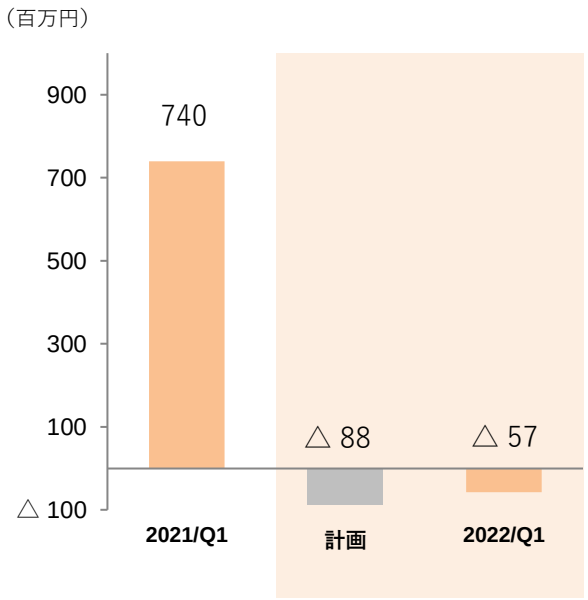
不動産

- 不動産価格の高騰が続く中、慎重な事業展開を進めつつも、従来からの手法に加え、不動産M&Aや建替え案件等に間口を広げながら着実に優良な事業用地確保を図った
- 本年度は物件の引渡しが下期に集中 / 下期・来期の分譲マンション販売は計画通り推移
- 昨年第1四半期の高利益物件の反動で減益

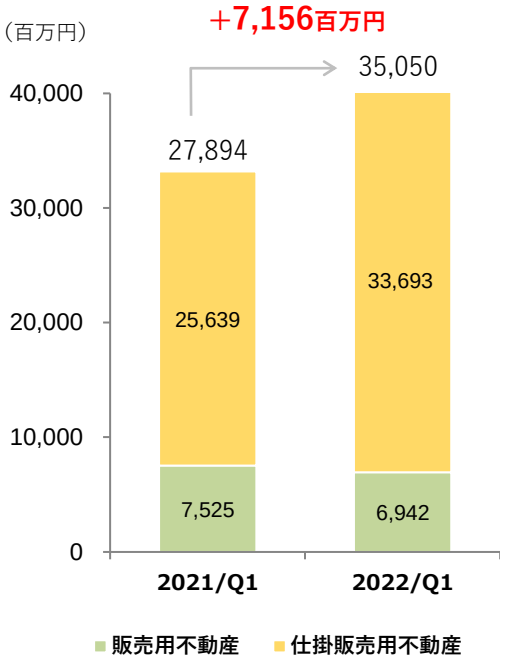
◆ 売 上 高



◆ セグメント利益



◆ 販売用不動産



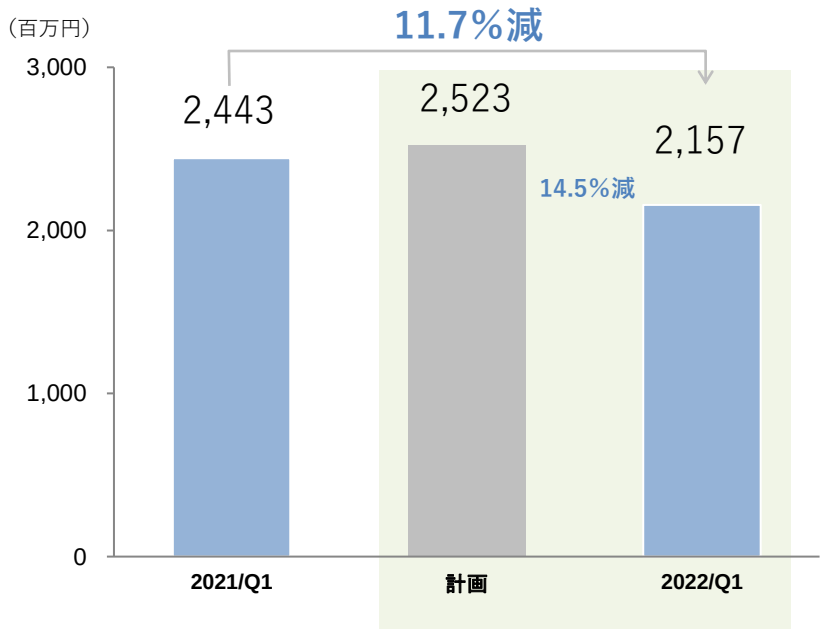
Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

情報通信事業

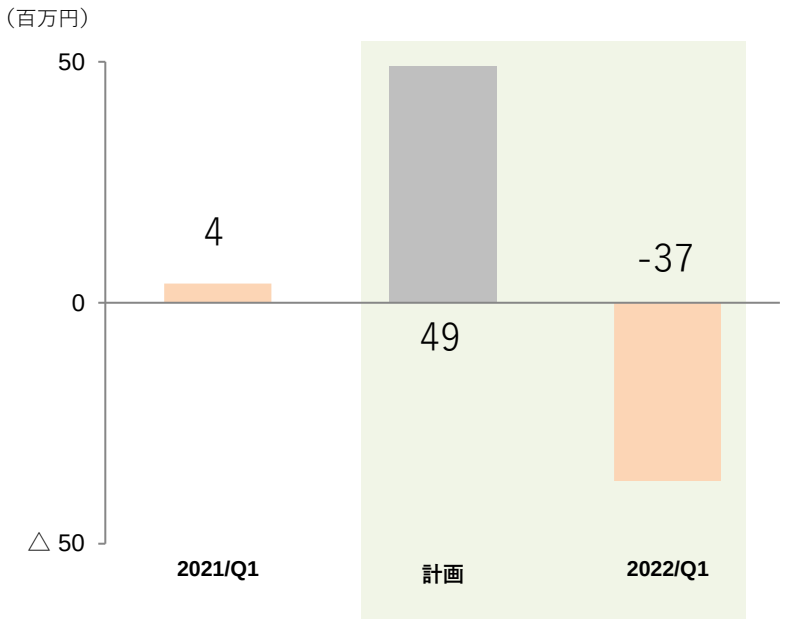
情報通信

- 携帯電話各キャリアの料金値下げやオンライン専用新プランの登場で販売代理店業界が再び大きな変革期
- 販売台数は増加するも、一ユーザーあたりの単価減少と手数料減少により減収減益
- 残存者メリット享受に向けポートフォリオ強化を進める

◆ 売 上 高



◆ セグメント利益



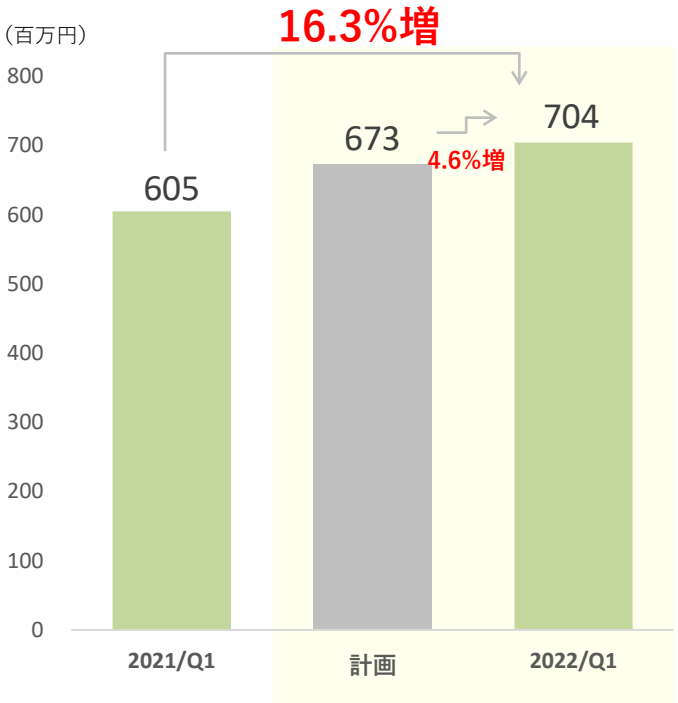
Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

農業公園事業

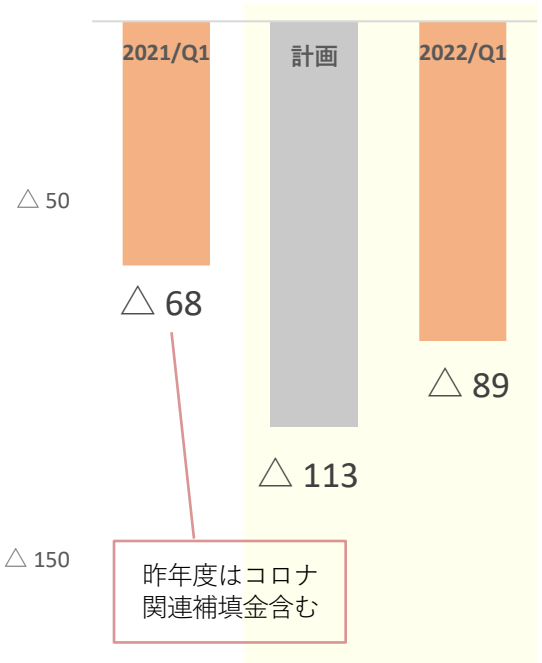
農業公園

- コロナ禍による１～2月のまん延防止重点措置の影響や2月の天候不順により入園者数が伸び悩んだが、3月以降は順調な回復基調で損失計画を改善
- 最繁忙期である第2四半期に向けた誘引施策を展開
- 新たな指定管理案件受託に向け準備

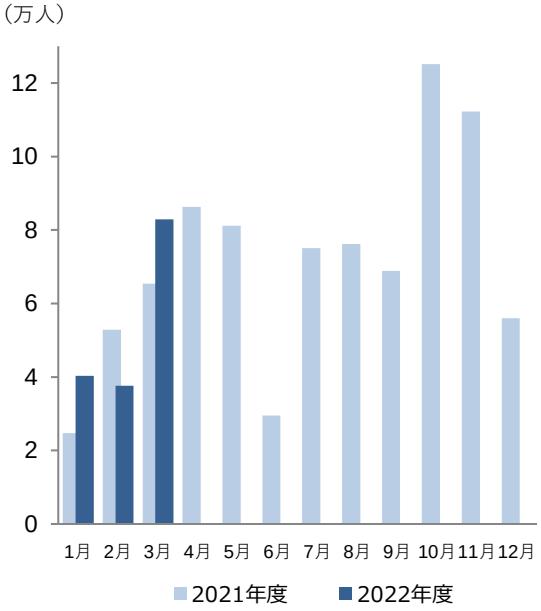
◆ 売 上 高



◆ セグメント利益



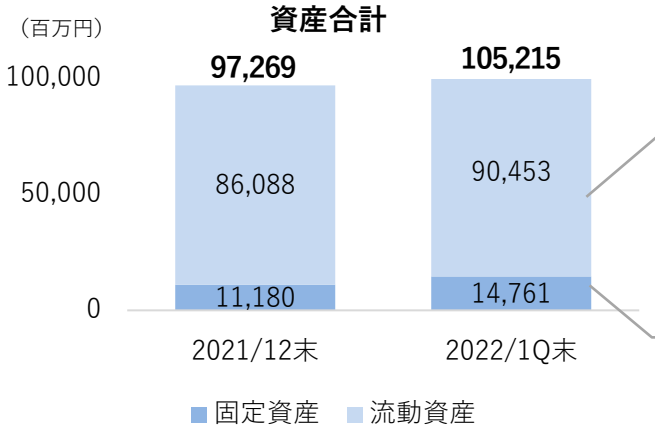
◆ 入園者数



Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

財政状態　B/S

- 不動産物件の仕入れを進めたこと、及びディンプル社の株式取得（のれん増加）により総資産は増加

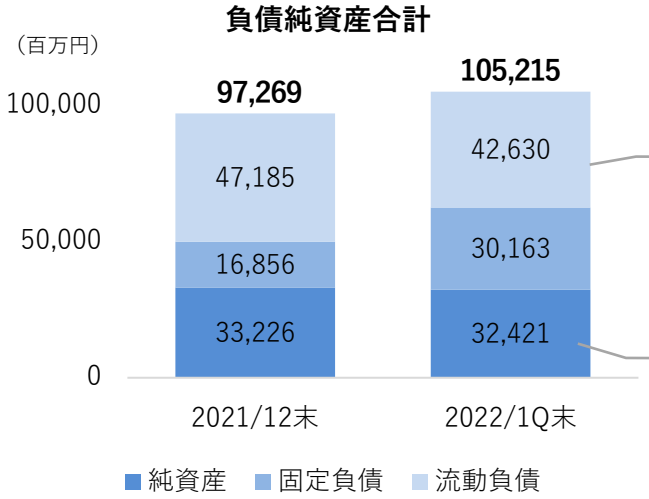


流動資産　90,453（+4,365）

・現金及び預金	△2,762百万円
・受取手形及び売掛金	+644百万円
・販売用不動産	+720百万円
・仕掛販売用不動産	+4,864百万円

固定資産　14,761（＋3,581）

・のれん	+3,230百万円
・繰延税金資産	+131百万円



負債　72,794（+8,752）

・短期借入金	△3,093百万円
・長期借入金	+11,218百万円

純資産　32,421（△805）

・利益剰余金	△891百万円
・非支配株主持分	+74百万円

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

Ⅲ. 2022年12月期　業績見通し

2022年12月期　通期業績見通し

- 新たな中期経営計画の初年度として、先行投資の年と位置付け減益の見通し
- 人材教育ビジネスにおいては、現状の大口オーダー対応と次年度以降の成長に向けた採用＆人材育成投資、システム投資を実施
- 不動産ビジネスにおいては、市況が読みにくい中、慎重な姿勢を継続し次の投資機会を伺う

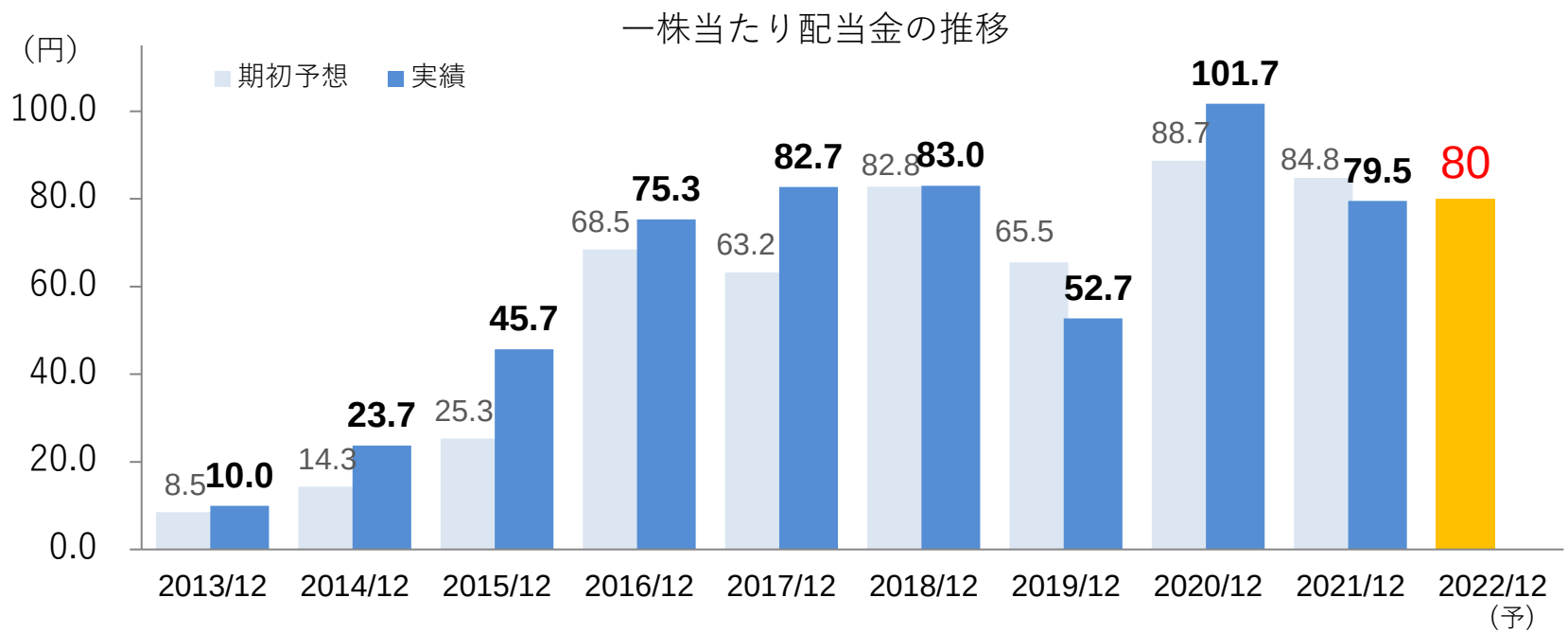
単位：百万円、%	2021/12 実績	2022/12 見通し	前期比	
			増減額	増減率
売上高	154,704	**168,828**	**14,123**	**9.1%**
営業利益	7,481	**6,244**	**△1,237**	**△16.5%**
経常利益	7,738	**6,053**	**△1,684**	**△21.8%**
親会社株主に帰属する当期純利益	4,626	**3,862**	**△763**	**△16.5%**
一株当たり利益（円）	265.02	**221.22**	**△ 43.80**	**△16.5%**
一株当たり配当金（円）	79.5	**80.0**	**0.5**	**0.6%**

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

株主還元

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針としており、配当については、連結配当性向 30%を目安として、安定的かつ継続的な配当成長をめざしております。

≪2022年12月期末の配当予想につきまして≫
2022年2月9日に**１株当たり66.4円と公表しておりましたが、**足もとの業績動向等を勘案しまた株主の皆様へのご期待に応えるべく、**１株当たり80.0円に修正**いたします。



※業績予想及び配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

Ⅳ. Appendix

ワールドホールディングス 会社案内

主なグループ会社

人材教育ビジネス

- ワールドインテック
- ワールドスタッフィング
- ワールドコンストラクション
- JWソリューション
- TOHOWORLD
- ディンプル
- DOTワールド
- 台灣英特科
- WORLD INTEC AMERICA
- EngmaIntec
- 九州地理情報株式会社
- NIKKEN TECHNO CO.,LTD
- ワールドシステムサービス
- CreationViewCo.,Ltd.
- Wakrak
- Advan 株式会社アドバン

情報通信ビジネス

- e-support
- NETWORK SOLUTION
- ベストITビジネス

農業公園ビジネス

- ワールドインテック
- 株式会社 クラウデイト

主な関係会社：39社

＜連結子会社35社・非連結子会社4社＞

不動産ビジネス

- ワールドレジデンシャル
- ワールドアイシティ
- ワールドウィステリアホームズ
- ニチモリアルエステート
- コンパックス
- WORLD DEVELOPMENT INDONESIA
- MIKUNI
- ワールドミクニ
- エムズワールド
- オオマチワールド

金融関連事業

- ワールドアセットマネジメント
- ワールドキャピタルソリューション
- みらい債権回収

沿革

青字：人材・教育ビジネス
緑字：情報通信ビジネス
橙字：不動産ビジネス
黄字：農業公園ビジネス

設立　株式上場（JASDAQ）　純粋持株会社へ　東証1部　東証プライム

人材教育ビジネス
情報通信ビジネス
不動産ビジネス
農業公園ビジネス

- 1981　みくに産業（現 ミクニ）創業
- 1993　ワールドインテック 設立
  - 製造分野
  - 技術分野
  - 研究開発分野
- 2003　台湾英特科 設立（台湾）
- 2005　イーサポート 子会社化
- 2008　九州地理情報 子会社化
- 2010　ワールドレジデンシャル 設立（関東圏）
- 2012　ワールドアイシティ 設立（東北圏）
  DOTワールド 子会社化【CRO】
- 2013　ワールドウィステリアホームズ 設立（関西圏）
- 2014　ミクニ 子会社化【リノベーション】
  ワールドホールディングス に商号変更
  エングマインテック 設立（中国）
- 2015　ワールドデベロップメントインドネシア 設立（インドネシア）
  オオマチワールド 子会社化【ユニットハウス】
- 2016　日研テクノ 子会社化【カメラ修理】
- 2017　ファーム 子会社化【農業公園】
- 2018　ワールドシステムサービス 子会社化【ソフトウェア】
  ワールドインテック アメリカ 設立（アメリカ）
- 2019　JTBグループと共同出資で JWソリューション 設立【ツーリズム関連】
  東邦チタニウム と共同出資で TOHOWORLD 設立【素材関連】
  ワールドアセットマネジメント 子会社化【金融】
  みらい債権回収 子会社化【金融】
- 2020　ワールドキャピタルソリューション 設立【金融】
  ワクラク 子会社化【アプリ開発運営】
- 2021　クリエーションビュー 子会社化【ソフトウェア】
- 2022　ディンプル子会社化【接客販売】

人材教育ビジネス

人材
教育

幅広い領域をシームレスにカバーした業務請負・人材派遣

研究開発	設計開発	製造	物流	アフターサービス	接客販売 ツーリズム
R&D	テクノSI	ファクトリー	ロジスティクス	リペア	スタッフィング
医薬 バイオ	機電系 システム系	半導体 自動車	eコマース	カメラ 家電	量販店 ホテル

約**30,550**名の稼働人数 ※2021年12月末時点

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

不動産ビジネス

不動産

あらゆる外部環境変化への対応可能な体制を構築

現物不動産

デベロップメント

マンション・戸建
事業用地開発

東北圏・首都圏・近畿圏・九州圏で
主要都市に特化し事業展開

レジデンシャル上板橋パークゲート
《東京都》

不動産再生

リノベーション
コンバージョン

全国でリノベーション等の
不動産再生関連事業を展開

Before

After

＋

受益権化

不動産
金融

債権回収
アセット
マネジメント

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

情報通信ビジネス

情報通信

モバイルショップ

九州地域最大級の店舗網

携帯電話ショップを、福岡県、佐賀県、大分県
熊本県、長崎県、沖縄県にて展開

- Softbank ショップ
- au ショップ
- Y!モバイル ショップ

35店舗

2021年12月現在

法人ソリューション

企業向けに、各種商材の販売を通して、
電力、通信費 等のコスト削減提案を実施

コールセンター

個人・法人向けに
様々な商材を販売

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

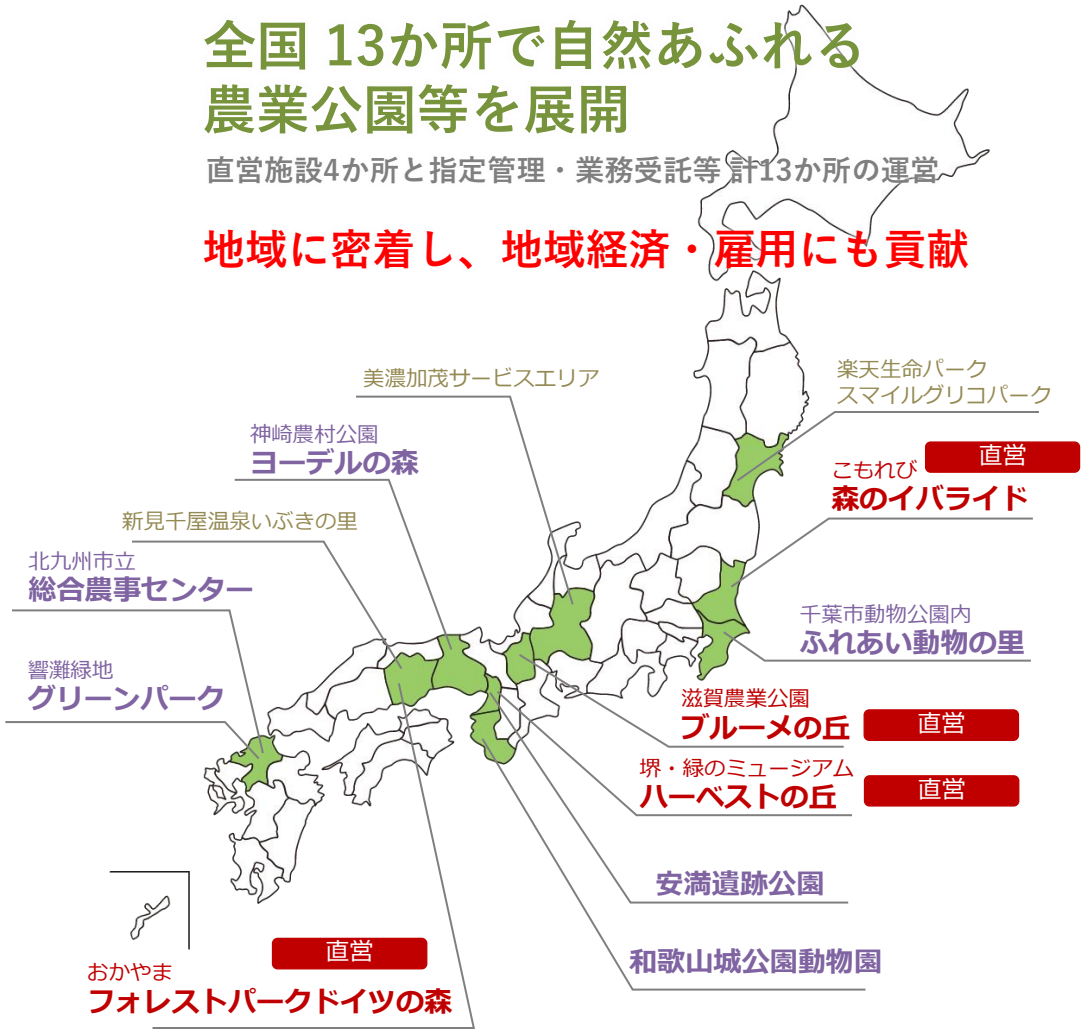
農業公園ビジネス

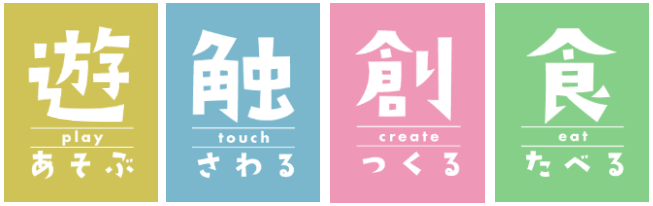
農業公園

全国 13か所で自然あふれる農業公園等を展開

直営施設4か所と指定管理・業務受託等 計13か所の運営

地域に密着し、地域経済・雇用にも貢献

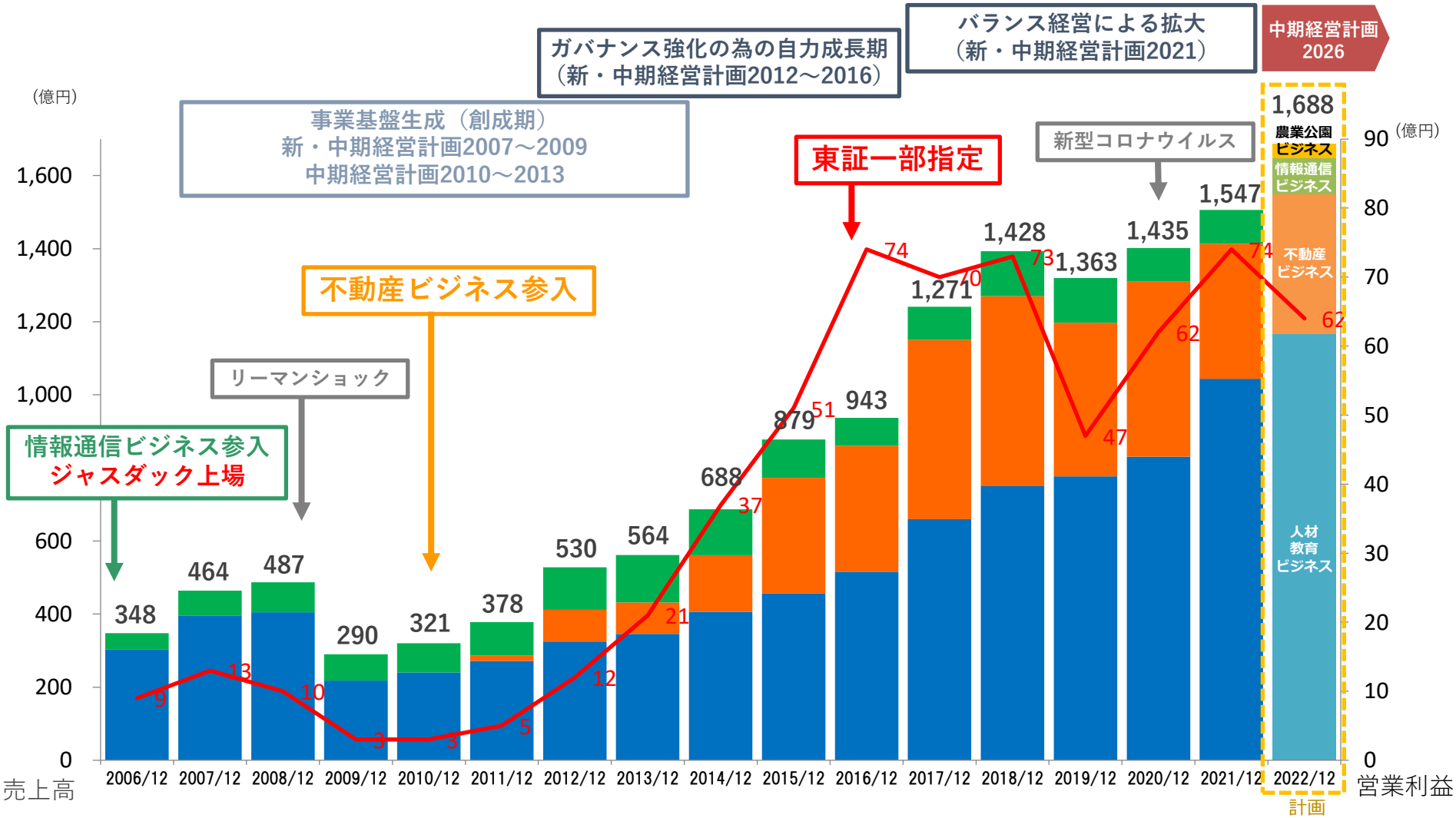




自家製のソーセージ
菓子、ビールなどの
製造・販売も行う

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

業績推移



注）2021/12実績までは旧セグメント区分で、2022/12計画は新セグメント区分で表示

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

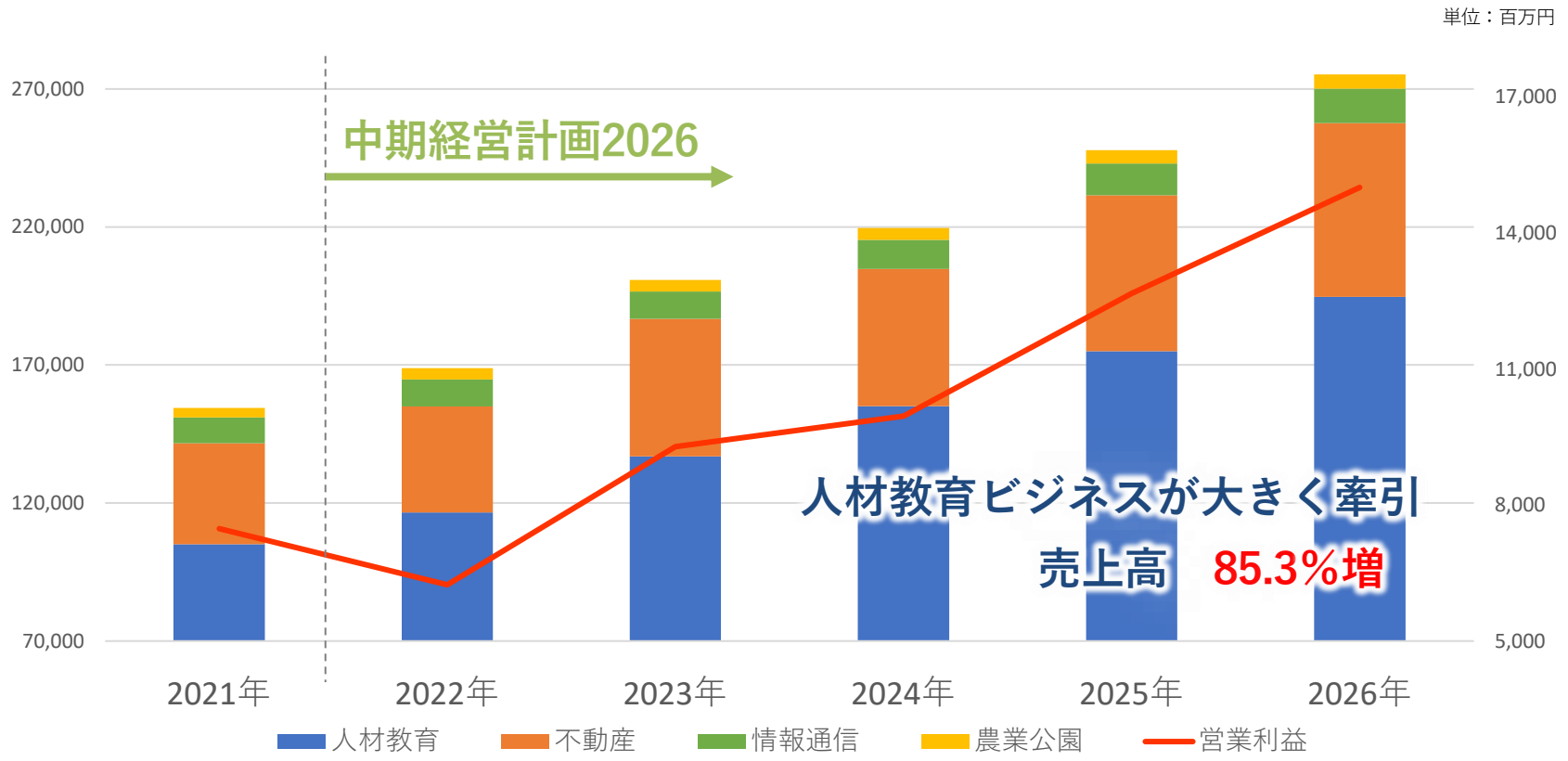
中期経営計画2026 数値目標

■ 2021年実績

売上高：　1,547億円
営業利益：　74億円
配当性向：　30%

■ 2026年目標数値　営業利益2倍超へ

売上高：2,750億円　（77.8%増）
営業利益：150億円（100.5%増）
配当性向：30%



Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

シンボルマークに込めた想い

新しい価値を生み出すフロンティア
これまで蓄積してきた、
経験や信頼を青い「球体」で表現し、
さらなる飛躍や進化を目指す
企業姿勢を黄色の「人」で
表しています

いつも「人」が中心の
企業グループ

「人が活きるカタチ」を
創造することで、
この世界はもっともっと
住みやすく、便利で、
そして、生きやすくなるはず

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved

本資料に関するお問い合わせ

人が活きるカタチ

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更される事があります。
万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、
弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

株式会社ワールドホールディングス
広報IR室　西原 範朗
TEL　03-3433-6005
E-MAIL　irinfo@world-hd.co.jp
URL　https://www.world-hd.co.jp/

Copyright © WORLD HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved